

参 考 資 料

1	諮問	
	諮問文（写し）	1～ 2頁
2	公共事業評価委員名簿	3頁
3	全県位置図（7件）	4頁
4	事前評価事業（説明資料）	
	(1) 米子境港都市計画道路3・4・32号両三柳中央線防災・安全 交付金事業（県道東福原樋口線）	5～ 8頁
	(2) 国道181号（佐川～根雨原工区）社会資本整備総合交付金事業	9～14頁
	(3) 国道180号（福長～菅沢工区）防災・安全交付金事業	15～19頁
	(4) 境漁港特定漁港漁場整備事業	20～24頁
5	再評価事業（説明資料）	
	(1) 国道313号（倉吉道路）改築事業	25～28頁
	(2) 国道313号（倉吉関金道路）改築事業	29～32頁
	(3) 県営畑地帯総合事業（名和2期地区）	33～35頁

平成27年2月10日

鳥取県公共事業評価委員会



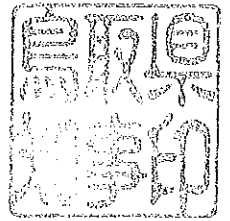
諮 問

鳥取県公共事業評価委員会

鳥取県公共事業評価実施要綱第7条第1項の規定に基づき、別添対象事業の継続、
休止、中止等の方針及び計画の妥当性について諮問します。

平成26年9月17日

鳥取県知事 平井 伸治



H26年度 公共事業事前評価対象箇所一覧

(単位:百万円)

	管内	担当課	市町村	事業名	事業の概要	着手予定年度	完成予定年度	延長、幅員等	全体事業費	備考
①	西部	道路建設課	米子市	米子境港都市計画道路 3・4・32号両三柳中央線 防災・安全交付金事業	バイパス +現道拡幅	H26	H33	L=2,400m W=6.0(16.0)m	2,980	県道東福原樋口線
②	西部	道路建設課	江府町 ～ 伯耆町	国道181号(佐川～根雨原工区) 社会資本整備総合交付金事業	バイパス	H27	H35	L=1,550m W=6.5(8.0)m	3,800	
③	日野	道路建設課	日野町 ～ 日南町	国道180号(福長～菅沢工区) 防災・安全交付金事業	バイパス	H27	H40	L=2,220m W=6.0(7.5)m	5,890	
④	西部	空港港湾課	境港市	境漁港 特定漁港漁場整備事業	・岸壁の耐震・津波対策 ・市場・岸壁の高度衛生化	H26	H35	岸壁1式 泊地浚渫 1式 荷捌き所 1式	12,000	

H26年度 公共事業再評価対象箇所一覧

(単位:百万円)

	管内	担当課	市町村	事業名	事業の概要	着手予定年度	完成予定年度	延長、幅員等	全体事業費	残事業費 (進捗率)	備考
⑤	中部	道路建設課	倉吉市	国道313号(倉吉道路) 改築事業	バイパス	H17	H32	L=4,050m W=7.0(13.5)m	12,500	816 (93.5%)	
⑥	中部	道路建設課	倉吉市	国道313号(倉吉関金道路) 改築事業	バイパス	H23	H35	L=7,010m W=7.0(13.5)m	16,660	15,711 (5.7%)	
⑦	西部	農地・水 保全課	大山町	県営畑地帯総合事業 (名和2期地区)	畑かんA=138ha 旧畑かん撤去 一式	H21	H29		1,277	596 (53%)	

鳥取県公共事業評価委員会委員

(任期 26. 8. 5 ~ 28. 8. 4)

委員名	区分	備考
こばやし はじめ 小林 一	農業	5年目 会長 鳥取大学農学部教授
しおざわ けんいち 塩沢 健一	公共政策	1年目 会長代理 鳥取大学地域学部准教授
くわの まさし 桑野 将司	土木	1年目 鳥取大学大学院准教授
ひろさわ きょうこ 広沢 京子	まちづくり	1年目 NPO鳥取・賀露みなとオアシス 副理事長
なかむら よしえ 仲村 美枝	産業	1年目 (株) ヴィス・コーポレーション 代表
くすもと ちえみ 楠本 知恵美	県民の視点	3年目 てぬぐい工房らっぷ代表
とだ まい 戸田 舞	県民の視点	7年目 鳥取県観光事業団スタッフ
いのうえ のぞむ 井上 望	効率性	7年目 税理士
おかだ すみお 岡田 純	環境	7年目 鳥取県生物学会会員
よしかわ のぶこ 吉川 信子	県民の視点 【公募】	1年目 鳥取市体育協会書記

平成26年度 鳥取県公共事業評価対象箇所 位置図



**3・4・32号 両三柳中央線
(一般県道東福原樋口線)**

1. 位置図

3・4・32号両三柳中央線



2. 課題

3・4・32号両三柳中央線

《 課題 》

- (1) 歩行者・自転車の安全確保、自動車交通の円滑化
(車道幅員狭小(最小幅員5.3m、クランク形状、歩道・右折車線未整備の解消)
- (2) 市道安倍三柳線の整備による今後の交通量増加への対応
- (3) 救急医療機関(博愛病院)へのアクセス改善



7. ルート比較

3・4・32号両三柳中央線

ルート平面図



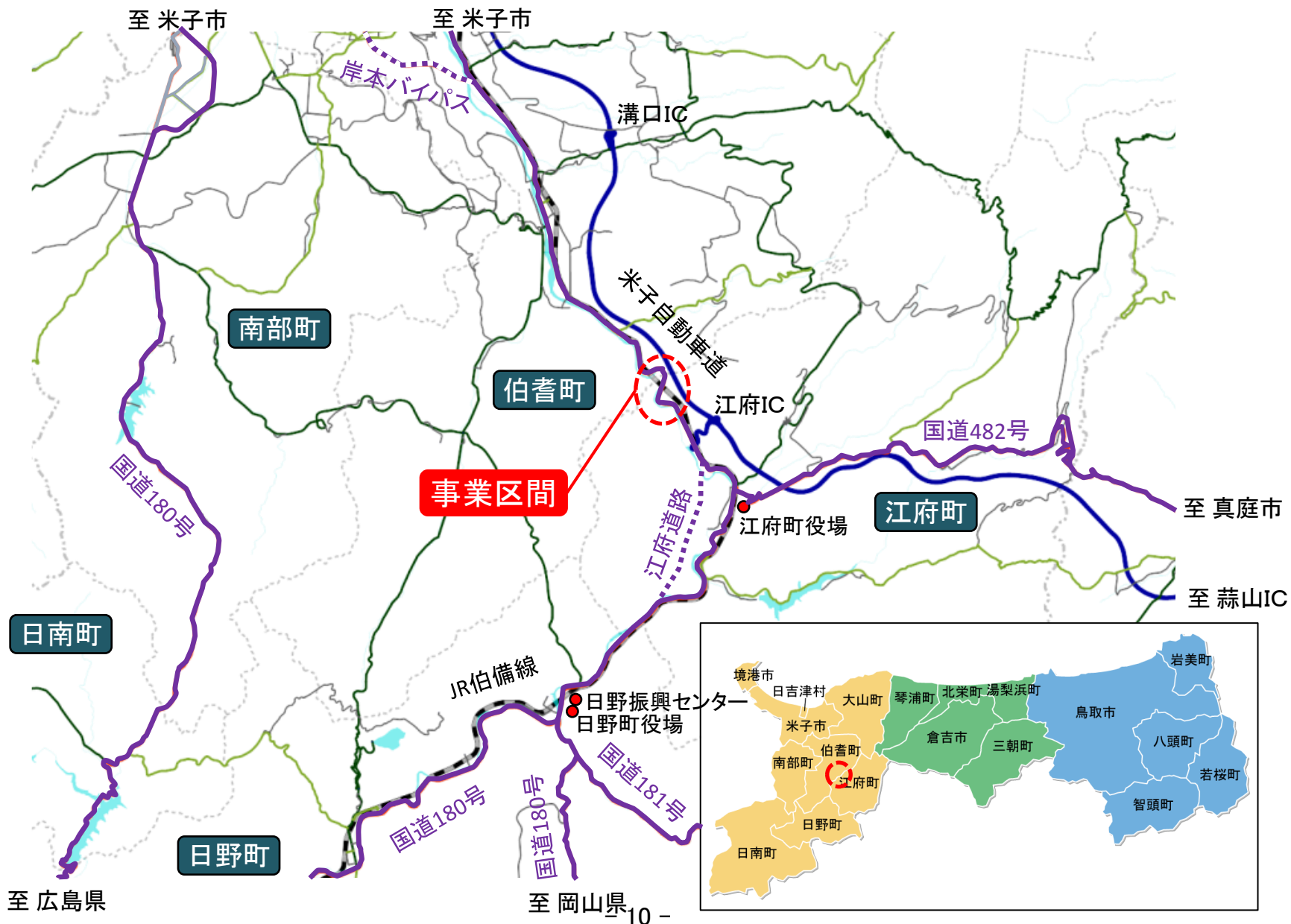
	案1:現道拡幅案	案2:バイパス(南側ルート)	案3:バイパス(北側ルート)
延長	L=2.4km	L=2.4km	L=2.4km
コスト	3,834百万円	2,980百万円	2,450百万円
主な補償対象	住宅44軒、店舗13軒、薬局1軒	住宅6軒、店舗5軒、公民館1軒	住宅3軒、店舗7軒、薬局1軒
評価	(-) 極めて高価	(-) 案3に比べ高価 (+) 線形が良い。 (+) 住民や病院との円滑な合意形成が図られる。	(+) 最も経済的 (-) 線形不良 (S字) (-) 住民や病院との合意形成の難航が予想される。 ①住宅地と病院の分断 ②病院の駐車場の狭小化

- 8 採用

一般国道181号 (佐川～根雨原工区)

1. 位置図

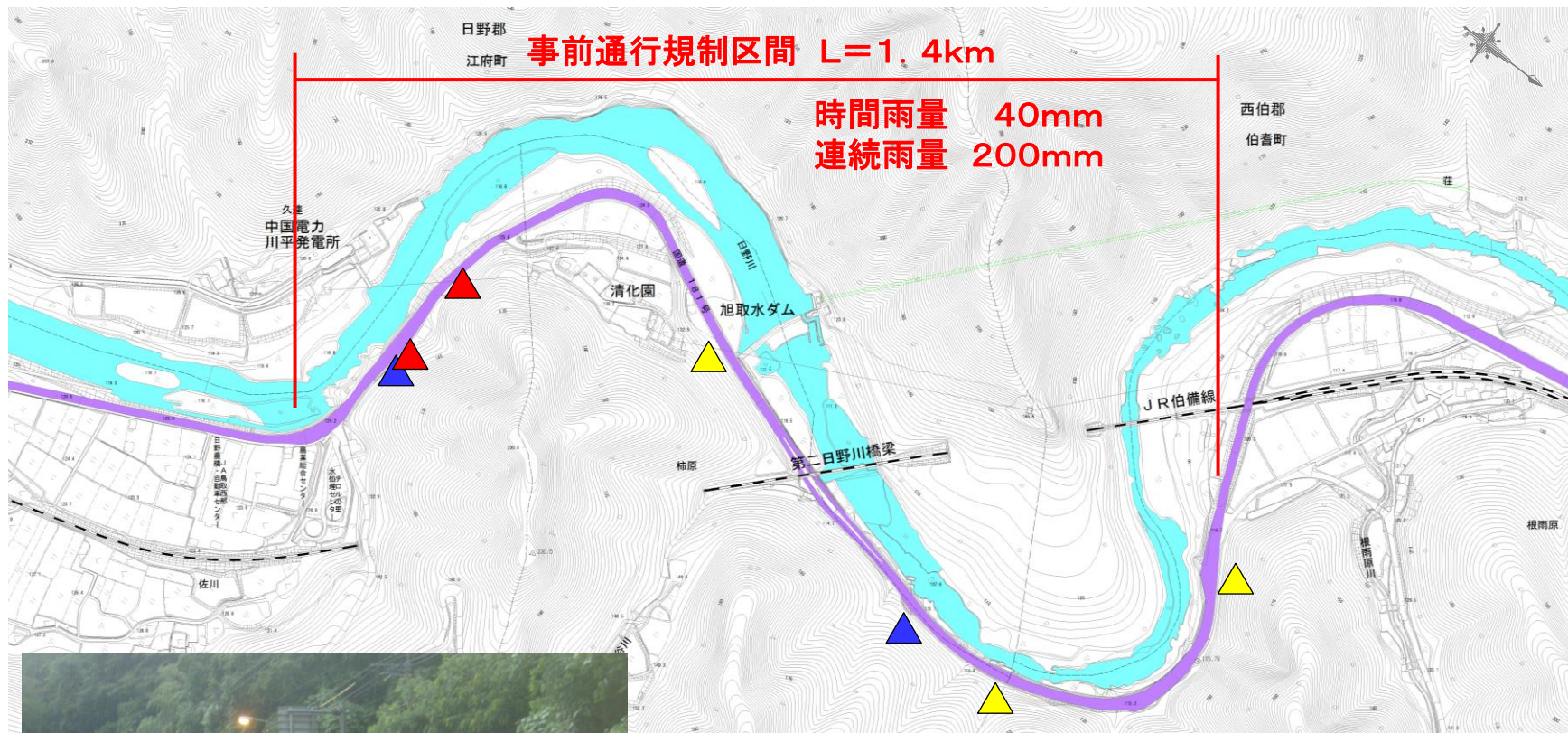
国道181号(佐川～根雨原工区)



2. 課題(その1)

国道181号(佐川～根雨原工区)

防災点検の結果、要対策箇所や経過観察箇所が点在



平成25年7月15日
土砂の流出により
全面通行止が発生

凡例(防災点検結果)

- ▲ 要対策
- ▲ 経過観察
- ▲ 対策完了

3. 課題(その2)

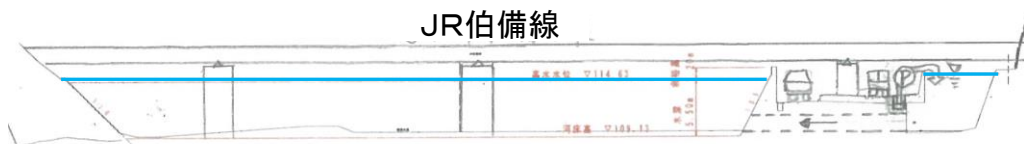
国道181号(佐川～根雨原工区)

JR立体交差があるため、高さ制限と路面冠水が発生



○冠水状況

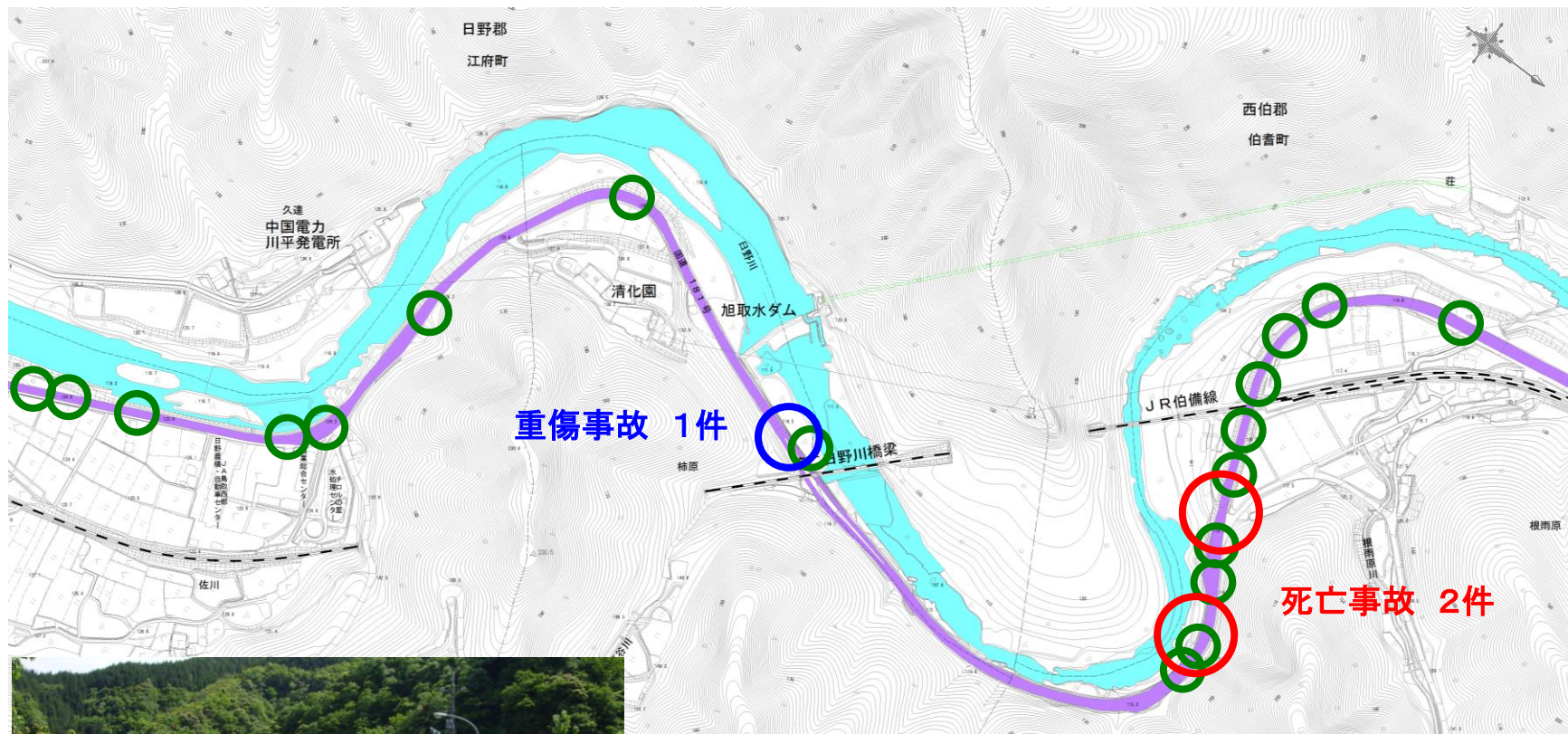
・H9年度	7 / 12	片側通行止
	8 / 5	全面通行止
・H10年度	10 / 18	全面通行止
・H16年度	10 / 18	全面通行止
・H18年度	7 / 19	全面通行止
・H23年度	9 / 3	全面通行止



4. 課題(その3)

国道181号(佐川～根雨原工区)

見通しが悪く、人身事故が多発



軽傷事故 18件

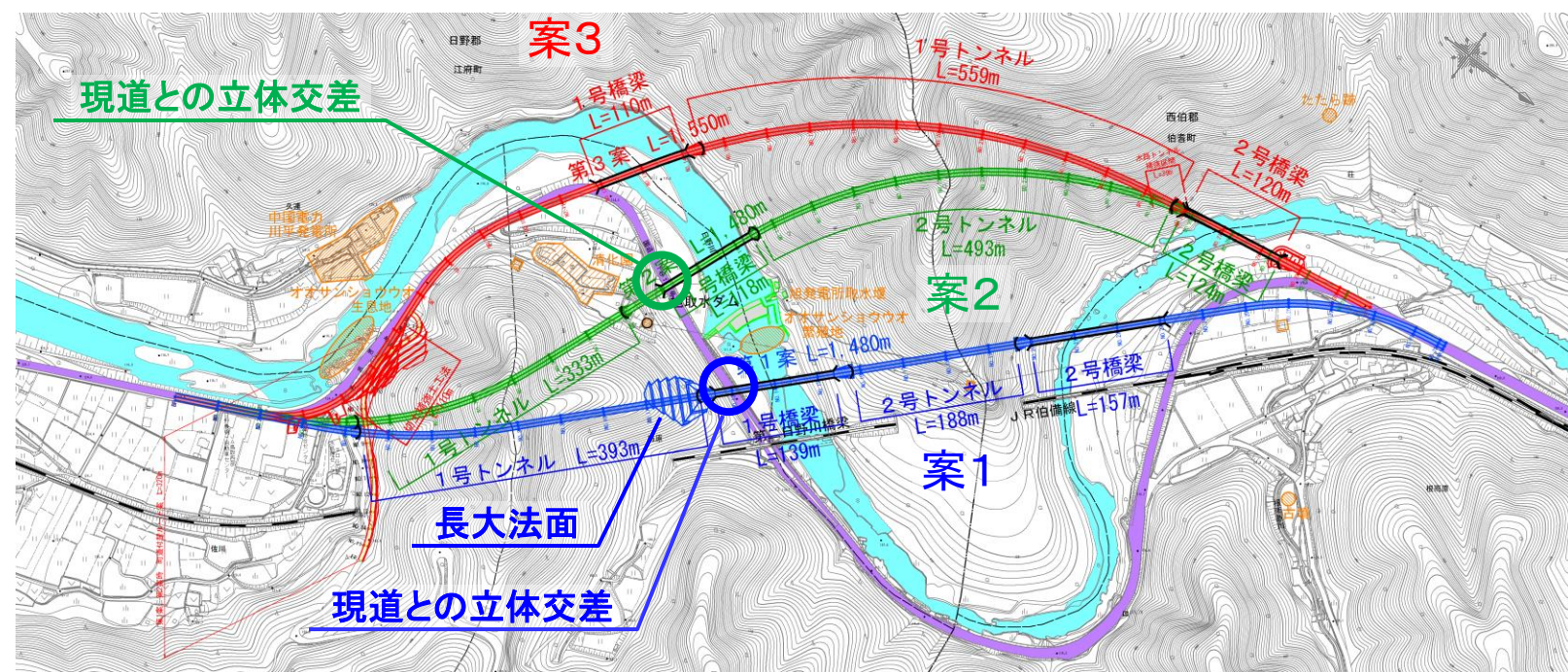
平成8年～平成23年の間に
死亡事故2件、重傷事故1件を含む人身事故21件
が発生している



7. ルート比較

国道181号(佐川～根雨原工区)

ルート平面図



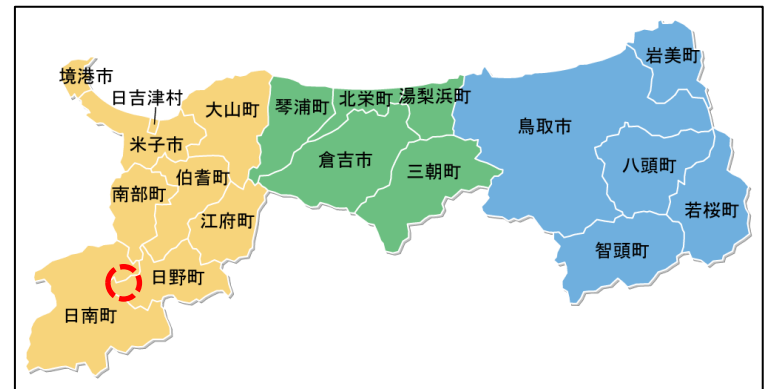
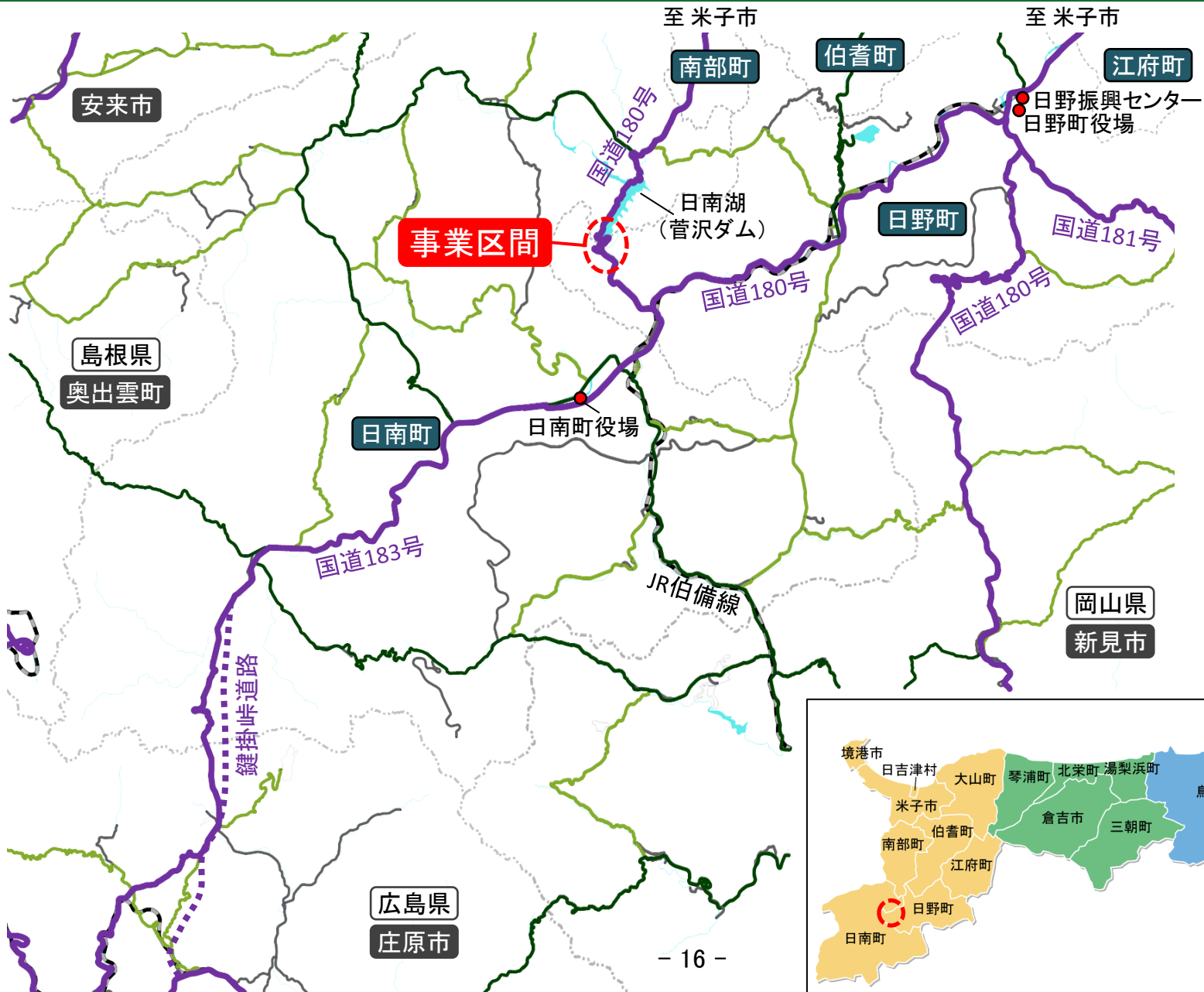
	案1: JR伯備線平行ルート	案2: 取水堰上流渡河ルート	案3: 現道利用ルート
延長	L=1.48km	L=1.48km	L=1.55km
コスト	4,010百万円	4,720百万円	3,800百万円
補償対象	2件	3件	—
評価	(+) 線形が良く最も走行性に優れる (-) 現道との立体交差が生じ施工性に劣る (-) 1号トンネル北側坑口に長大法面が発生する	(-) 最も経済性に劣る (-) 現道との立体交差が生じ施工性に劣る	(+) 最も経済的 (+) 施工性に優れる

採用

一般国道180号 (福長～菅沢工区)

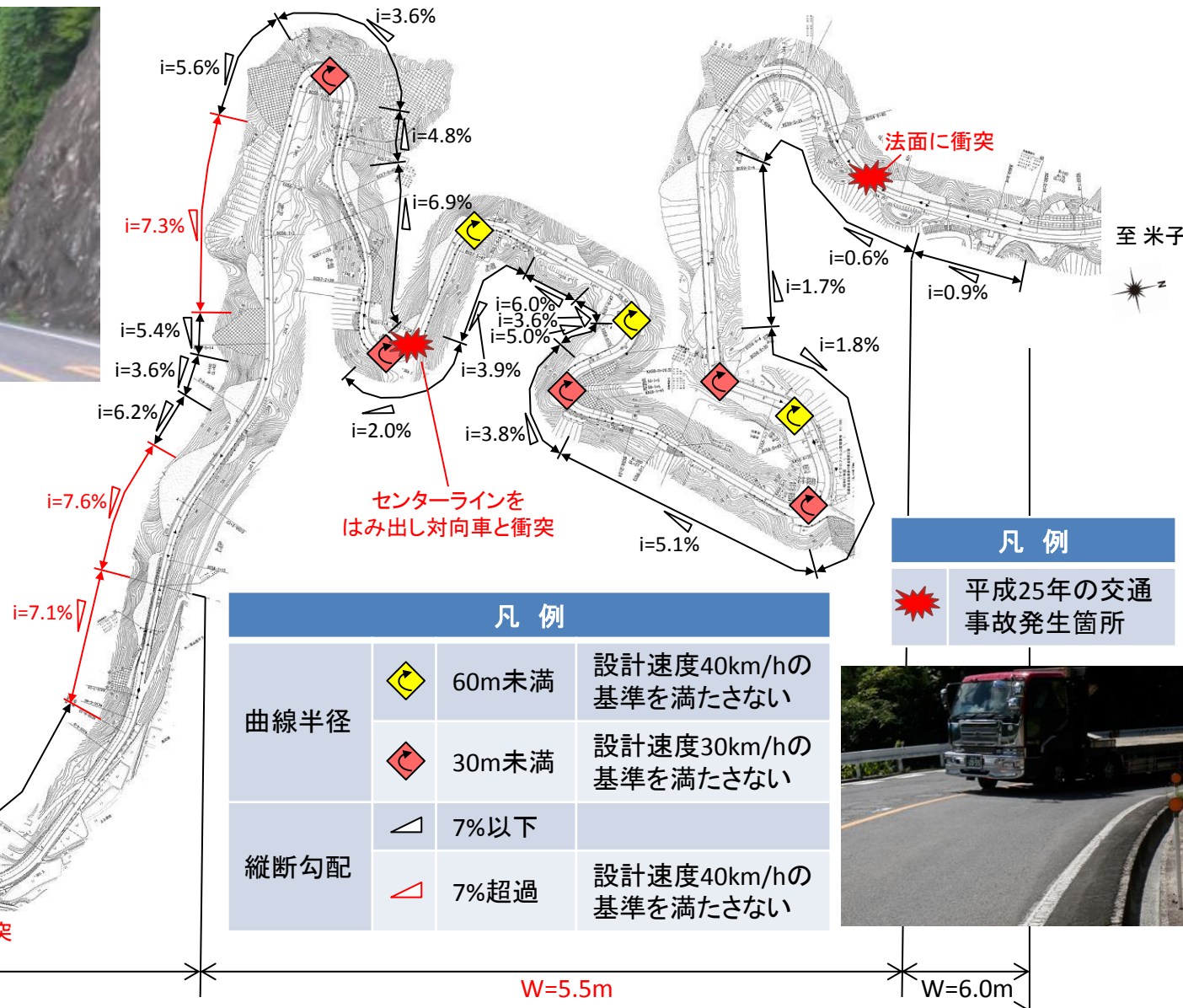
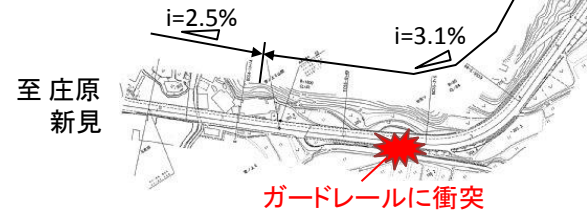
1. 位置図

国道180号(福長～菅沢工区)



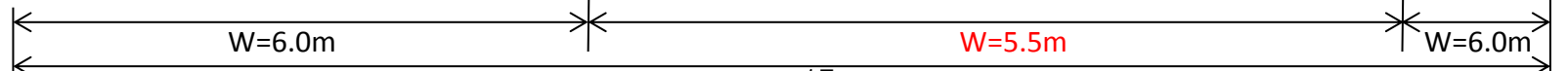
2. 課題(その1)

国道180号(福長～菅沢工区)



凡例			
曲線半径		60m未満	設計速度40km/hの基準を満たさない
		30m未満	設計速度30km/hの基準を満たさない
縦断勾配		7%以下	
		7%超過	設計速度40km/hの基準を満たさない

凡例	
	平成25年の交通事故発生箇所



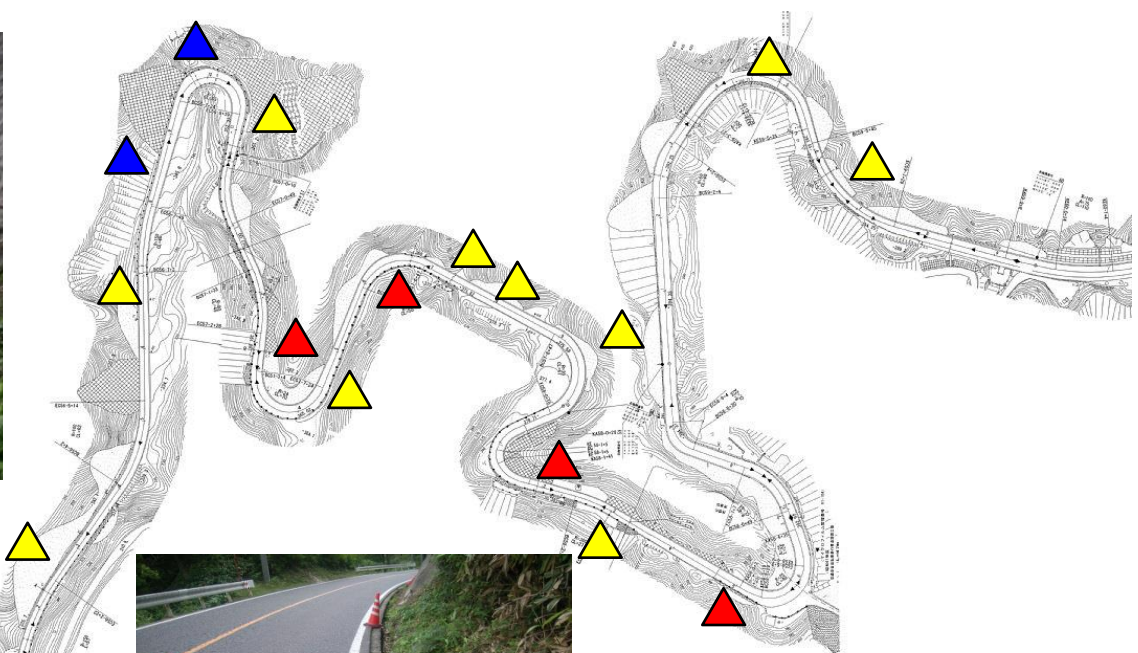
事業区間に並行する現道 $L \approx 2.7\text{km}$

3. 課題(その2)

国道180号(福長～菅沢工区)



▲災害防除工事による片側交互通行



至米子
N

至庄原
新見



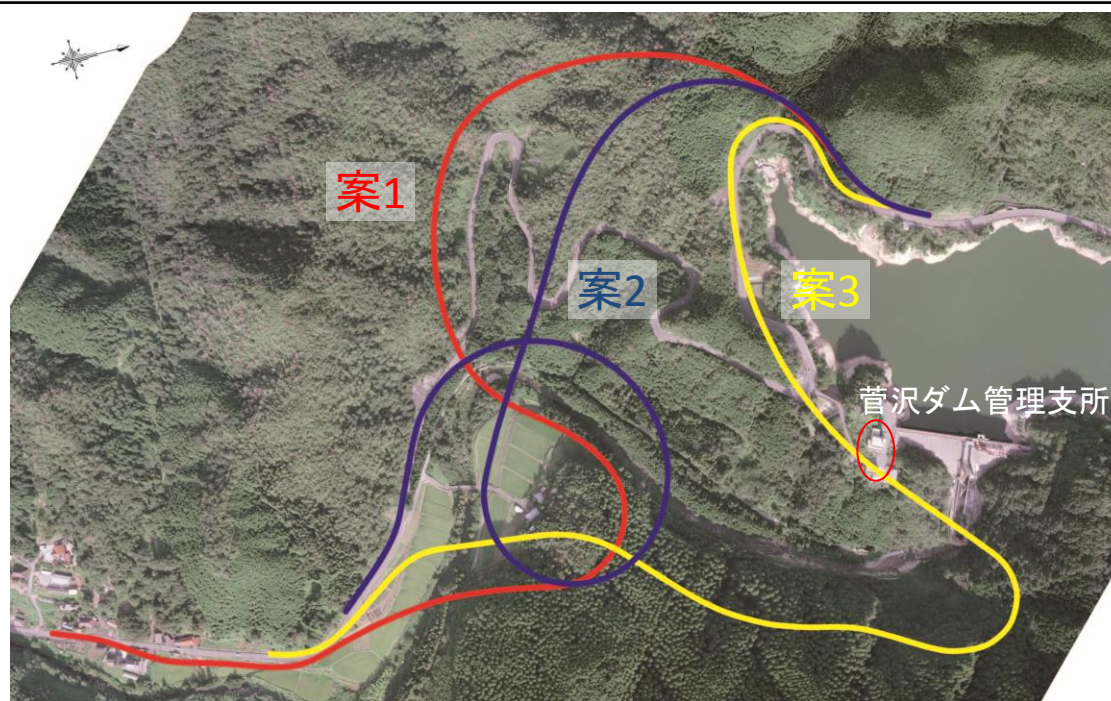
▲落石の発生状況

凡例(防災点検結果)	
	要対策
	経過観察
	対策完了

6. ルート比較

国道180号(福長～菅沢工区)

ルート平面図



	案1:バイパス(西側ルート)	案2:バイパス(ループ橋ルート)	案3:バイパス(東側ルート)
延長	L=2.20km	L=2.13km	L=2.15km
コスト	5,890百万円	6,334百万円	6,178百万円
補償対象	—	—	菅沢ダム管理支所建物(寮、車庫)
評価	(+) 最も冬期の走行性に優れる (+) 最も経済的	(+) 急勾配区間が短い (-) ループ区間(橋梁)で冬期凍結の恐れがある (-) 最も経済性に劣る	(-) 長大法面が多い (-) カーブ半径が小さく走行性に劣る (-) 菅沢ダム管理事務所へ影響が出る

採用